

## 問題 1

Had he been aware of the consequences, he \_\_\_\_\_ such a reckless decision.

- (a) would never make
- (b) would never have made
- (c) might never have made
- (d) could never make

正解: (b) would never have made

解説:

- **文脈:** 「もし彼がその結果を知っていたら」という過去の事実と反する仮定です。仮定法過去完了を使うので、「would never have made (過去分詞)」が正解です。
  - **他の選択肢:**
    - (a) **would never make:** 仮定法過去で現在の仮定を表すため、過去の仮定には不適切。
    - (c) **might never have made:** 仮定法として文法的には正しいが、「might」は可能性のニュアンスがあり、文脈に合わない。
    - (d) **could never make:** 仮定法過去で現在や未来の能力を表すため、過去の仮定には不適切。
  - **訳:** もし彼がその結果を知っていたら、そんな軽率な決定はしなかつただろうに。
- 

## 問題 2

If she \_\_\_\_\_ the meeting yesterday, she might have been able to influence the outcome, which would now be different.

- (a) had attended
- (b) attended
- (c) has attended
- (d) would have attended

正解: (a) had attended

解説:

- **文脈:** 過去に起こらなかったことを仮定しているので、「仮定法過去完了」を使います。「If + had + 過去分詞」が適切です。
- **他の選択肢:**
  - (b) **attended:** 仮定法ではなく過去形なので、仮定の意味が薄れる。
  - (c) **has attended:** 現在完了形は仮定法では使用できない。
  - (d) **would have attended:** 「if 節」には仮定法の「主節」のように助動詞は使えない。
- **訳:** もし彼女が昨日の会議に出席していたら、結果に影響を与えたかもしれないの

に。そして今、その結果は異なっているだろう。

---

### 問題 3

Were it not for the ambiguity in the data, the researchers \_\_\_\_\_ reached a definitive conclusion by now.

- (a) will have
- (b) would have
- (c) might have
- (d) could have

正解: (c) might have

解説:

- **文脈:** 「もしデータに曖昧さがなければ」という現在の仮定で、主節は現在までの結果を表しています。仮定法過去「Were it not for ~」を使用。主節では「might have」が可能性を表すため最適です。
  - **他の選択肢:**
    - (a) **will have:** 仮定法では未来の確定を表す「will」は使えない。
    - (b) **would have:** 確実性が高すぎるため、文脈に合わない。
    - (d) **could have:** 能力や可能性のニュアンスが強く、「曖昧さ」という文脈には合わない。
  - **訳:** もしデータに曖昧さがなければ、研究者たちは今頃明確な結論に達していたかもしれない。
- 

### 問題 4

Supposing we \_\_\_\_\_ to abolish this policy, what alternative would you propose for addressing the underlying issues?

- (a) were
- (b) had been
- (c) are
- (d) will be

正解: (a) were

解説:

- **文脈:** 「Supposing ~」は仮定法を導く表現で、未来の仮定を表すためには「仮定法過去」を使います。「were」が適切です。
- **他の選択肢:**
  - (b) **had been:** 仮定法過去完了で過去の仮定を表すため、未来の仮定には不適切。

- (c) **are**: 仮定法ではなく直説法なので、非現実的な状況を表せない。
  - (d) **will be**: 仮定法では助動詞「will」は使えない。
  - **訳**: もしこの政策を廃止すると仮定した場合、根本的な問題に対処するためにどのような代替案を提案しますか？
- 

## 問題 5

If the satellite \_\_\_\_\_ launched successfully, we would now be observing unprecedented levels of climate data.

- (a) had been
- (b) was
- (c) were
- (d) would have been

**正解**: (a) had been

**解説**:

- **文脈**: 「もし衛星が打ち上げに成功していたら」という過去の仮定で、「現在の結果」に影響している文脈です。「If + had + 過去分詞」を使います。
  - **他の選択肢**:
    - (b) **was**: 仮定法ではなく直説法の過去形なので不適切。
    - (c) **were**: 仮定法過去で現在や未来の仮定を表すため、過去の仮定には使えない。
    - (d) **would have been**: 「if 節」には主節のように助動詞は使えない。
  - **訳**: もし衛星が正常に打ち上げられていたら、今頃前例のない気候データを観測しているだろう。
- 

## 学びのポイント

1. **If 節の文法ルール**:
  - **If + 過去形**: 現在や未来の仮定。
  - **If + had + 過去分詞**: 過去の仮定。
  - **if 節では助動詞を使わないのが基本**。
2. **主節の助動詞の選び方**:
  - **would have + 過去分詞**: 確実な過去の結果。
  - **might have + 過去分詞**: 不確実な過去の可能性。
  - **could have + 過去分詞**: 可能性または能力を表す。
3. **特殊な仮定法表現**:
  - **Had it not been for ~**: 「もし~がなかったなら」。
  - **Were it not for ~**: 「もし~がなければ」。

- **Supposing** ～: 「もし～だと仮定したら」。